

---

# 福島給食センターについて

2015年3月31日

# 福島給食センターの概要

建物名称：福島給食センター  
構造：鉄骨造  
階数：地上2階  
敷地面積：9,828.24㎡  
建築面積：3,256.75㎡  
延床面積：4,052.64㎡（付属棟含）  
工期：平成26年5月  
～ 平成27年3月  
所在地：福島県双葉郡大熊町大字  
大川原字南平  
請負会社：前田建設工業(株)  
運用開始：4月中旬以降を予定



【上：全体イメージ】

【下：外観写真】

# 福島給食センターの開所による効果(1)

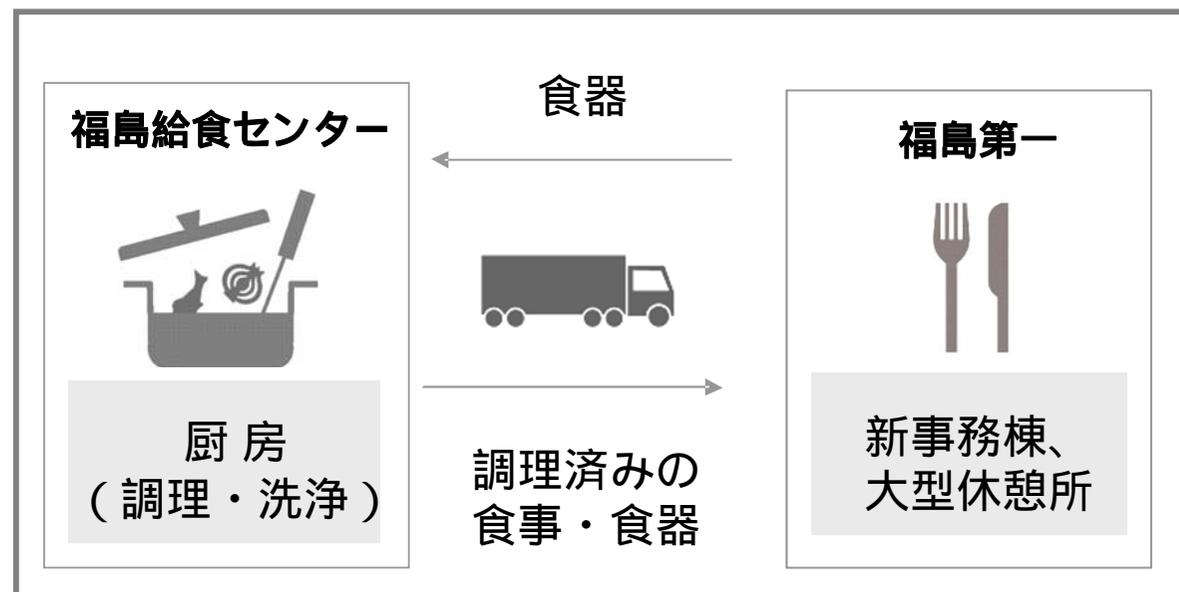
## 温かい食事の提供による福島第一の作業環境改善

- ・福島第一で働く約7,000人の作業員は、個別に弁当や購入したものを持参している状況。
- ・給食センターができることにより、昼・夜、温かい食事を提供できるようになり、労働環境が抜本的に改善する。

【給食センター方式のイメージ】

・昼食は一回に約3,000食を提供

・食事は、保温容器、保冷容器を使用し、断熱構造の車両で運搬することで適切な温度管理を行う



# 福島給食センターの開所による効果(2)

## 給食センターの建設・運営に伴う雇用の創出

- ・ 給食センターの従業員は95名の予定。
- ・ ほとんどが福島県内出身者。双葉郡内出身者は19名。
- ・ 給食センターの建設に携わった方は延べ約21,500人。

・ 衛生管理の徹底

・ 良質な作業環境

【職場イメージ】



- ・ 厨房機器には地域の復興と信頼性・実績の観点から、福島県内に工場を持つクリナップ株式会社およびタニコー株式会社の最新のオール電化機器を導入

# 福島給食センターの開所による効果(3)

## 福島県産食材の使用・地域雇用による風評被害の払拭

- ・ 原則福島県産の食材を使用。
- ・ 福島県産食材を使った食事の安全性が国内外へ伝わることで、風評被害の払拭に繋がることを期待。
- ・ 給食センター従業員のほとんどは福島県内の方であり、地域の方が安心して働ける場を提供することで、風評被害の払拭に繋がることを期待。

【給食イメージ】

- ・ メニューは定食2種類、  
麺、丼物、カレーの5種類を予定しているが、  
多種多様な調理が可能。



# 福島給食センターの多様な活用

給食センターの従業員食堂に大型ディスプレイを設置し、廃炉作業の最新状況をお伝えすることを検討中。

⇒ 地域の方に福島第一の状況を理解していただきたい。

福島第一で作業されている方が実際に給食を食べた感想を、大型ディスプレイで上映することも検討中。

⇒ 給食センター従業員のやりがい向上に繋げたい。

給食センターに地域の小中学生をご案内することを検討中。

⇒ 地域の子供達に、大熊町で食事を作っているという事実を見学してもらうことで、風評被害の払拭に繋げたい。

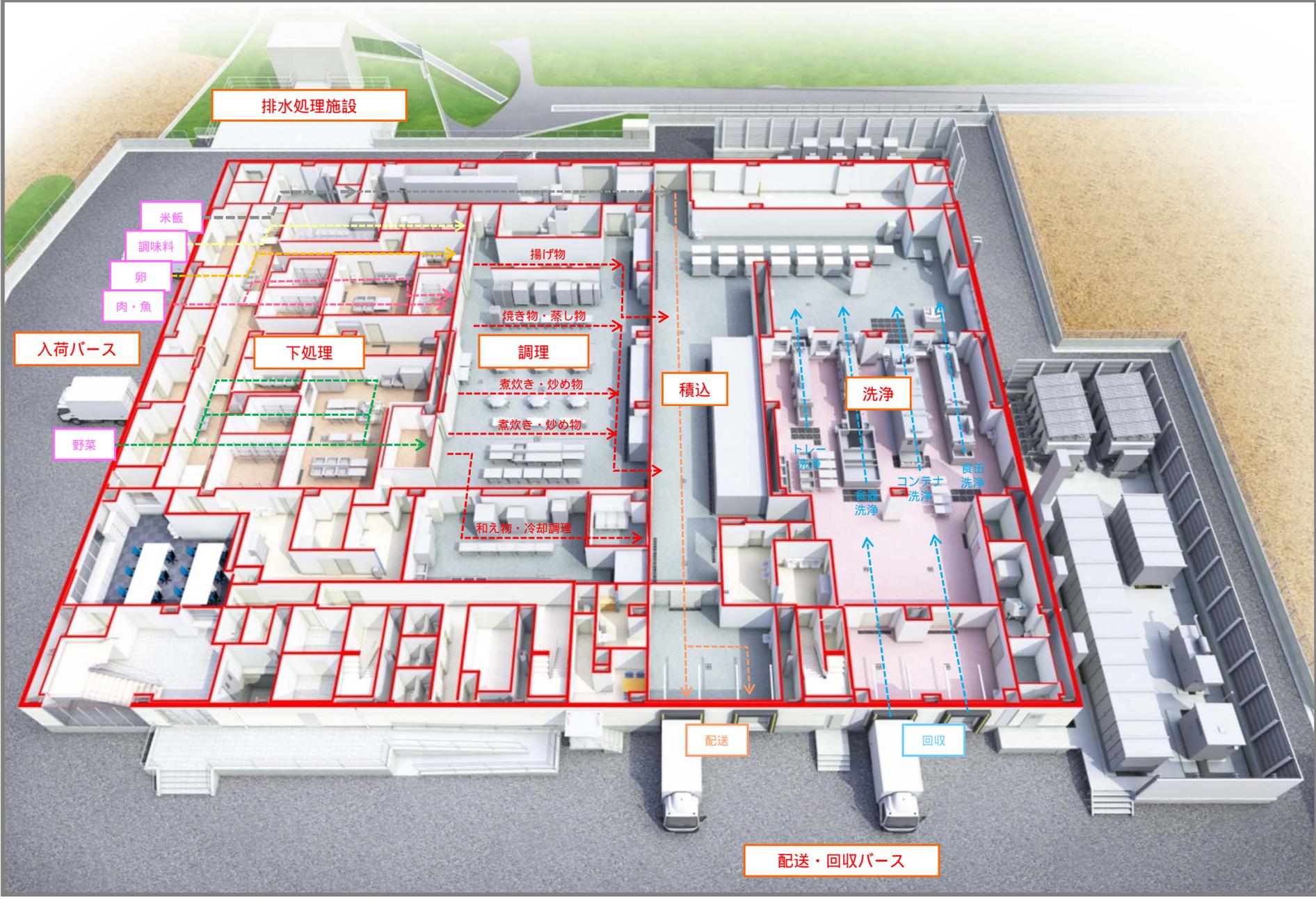
給食センターの近隣には、野菜工場や太陽光発電施設、協力企業の事務所なども建設される予定。

⇒ 大熊町の復興計画に最大限協力させていただく。

【見学イメージ】



# 参考：構内図(1)



# 参考：構内図(2)

